



こころを救うもの

福岡いのちの電話 理事

福島 あい子

弁護士



最近開催された展覧会で心に残ったことを話すことにします。

ひとつは、宮城県美術館コレクションに出展された海老原喜之助の「ポアソニエール」です。この絵は、魚を並べた籠を頭に載せた女の人を描いた、鮮やかな青色が清々しい絵で、洲之内コレクションの中の1点です。洲之内徹さんは戦時中（昭和18年頃）に中国の戦地でこの絵に出会ったそうです。洲之内さんは東京美術学校に入学したものの、左翼運動にかかわったとして検挙され退学を余儀なくされ、戦時中は軍嘱託として対共産党工作の任務に従事させられるという思い屈するような日々を送っていたようです。そんな苦しい日々はこの絵の複製を見て、「頭に魚を載せたこの美しい女が、^{あわ}周章てることはない、こんな偽りの時代はいつか終る、そう囁きかけて、私を安心させてくれるのであった。」と語っています（『絵の中の散歩』）。洲之内さんはこの絵に心を救われたのです。

この絵に関しては、原因不明の病気で死にかけたものの手術を受けて漸く治り、再び生きる希望を取り戻した人が、偶然書店でこの絵の複製画を見て感動し、

その後この絵を探し回った、という話も紹介されています（『帰りたい風景』）。その人にとっては、この絵は生きる喜びを共有してくれるものだったのでしょうか。

もう一つは、^{ろうそく}蠟燭の絵で有名な没後50年高島野十郎展で、学芸員による高島の人物像の再評価が新鮮でした。高島の作品は緻密かつ静謐で、人里離れたアトリエで独居しており、孤高の人とされていました。しかし、郵便による知人との交流はあり、「孤高だが孤独ではなかった」ということなのです。蠟燭の絵の殆どは知人に贈られ、今もそれぞれ各人の手許で大切に保管されています。

無言の絵が人を救うこともあるようです。いのちの電話に電話をかけてくるのは自殺念慮、孤独、孤立などさまざまな心の苦しさを抱えているからでしょう。いのちの電話の核心は『傾聴』と言われています。傾聴してもらうことで、相談員さんの言葉の背後にある心の暖かさや誠実さを感じるにより、心が救われるのだと思います。大変な活動ですが、手を携えて続けて行きましょう。

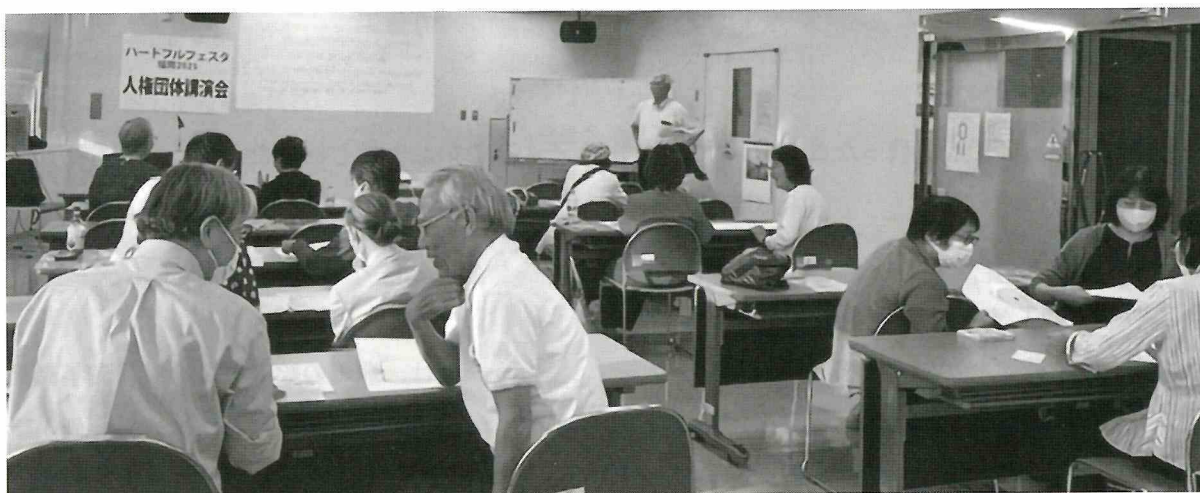


ハートフルフェスタ福岡 2025 講演会を実施しました

日常でいきる「聴き方、伝え方」

10月18日（土）15時から、あいれふ8階福岡人権啓発センター研修室にて、福岡いのちの電話の電話対応方法をコミュニケーションに生かしていただくための講演会を開催しました。福岡いのちの電話は同センターの登録団体に認定されています。

講師は吉良安之氏（福岡いのちの電話スーパーバイザー・九州大学名誉教授）



ワークで話し込む参加者のみなさん

参加者の感想

参考になった講義でした。常に相手に対しての尊敬を持ちながら会話を心懸けたいと強く思いました。悩みや病気のある方には受け止める心に徹したいと思いました。しかし心身の丈夫そうな人と向き合った場合にはそこまで自分の思いや考えを抑えて受け止めるだけに徹する事は多分出来ないかなと自信がありません。つつい余計な事を言っていることが多々あります。これが私のこれからの反省点だと思います。ありがとうございました。（M.Y）

最後に画用紙とクレヨンで、悩んでいる時とそれが解決した時の感情を3色使って線でも丸でも自由に描いて表しなさいとの課題を出されました。

画用紙もクレヨンも何十年振りかに手にしました。私は単純な丸や線で描きましたが、気持ちが軽くなりました。こんな単純な事でも自分の気持ちって動く事がわかりました。これが一番の収穫でした。（T.C）

第2回 全体研修

分科会C「一泊研修」

10月18日（土） 午後1時50分～19日（日）12時

参加者8名

10月18日（土）14時から19日（日）12時まで豊前市にある古民家施設『利他庵』にて研修が始まりました。

松尾教育委員長の指導のもと、野口体操を経験しました。野口体操とは、「がんばり」や「力み」を捨て、体の重さに身を任せることで、しなやかな動きや身体感覚を取り戻すトレーニング法です。参加者は先生を含めて8名でした。気持ちのいい緩みを体を取り戻す、という感覚を味わい、楽しい時間でした。

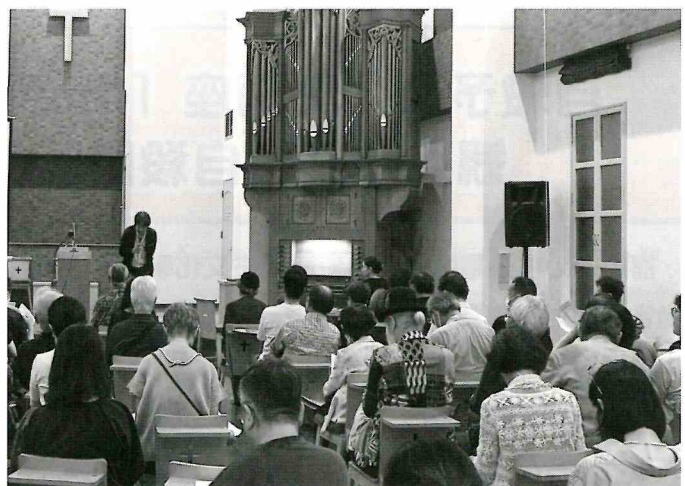
夕食のご飯と味噌汁を手作りし、おかずは購入して、みんなで美味しく頂きました。その後、たき火で焼き芋を作りながら、暗闇の中のオレンジ色の炎の美しいことに感動しました。2日目は参加者それぞれが景色の気になる写真を撮って、各自が発表するというワークをしました。写真を通して、自分が気になっていることを表現することで、自分に気づく作業になりました。是非、来年も企画していただける事を楽しみにしています。



パイプオルガンの荘厳な響き～演奏・福富由加里さん～安らぎのひと時

パイプオルガンチャリティコンサートのお礼

10月4日（土）14時より福岡市中央区の平尾バプテスト教会大名クロスガーデンにおいて、福岡いのちの電話を支援する実行委員会主催のパイプオルガンチャリティコンサートを開催いたしました。演者は、福富由加里さんで、当日はパイプオルガンの荘厳な響きを堪能し、事業ボランティアによる手作り品の販売で心が和む一日となりました。





父から言われた言葉

おまえの頭は箆（ざる）と思え！今から72年前の1953年、私が中学生の時、父からおまえの頭は箆頭だと・・・最初の頃は何の事だか理解が出来なかった。

箆（ざる）は水から持ち上げると全部抜け落ちて空になると、しかし箆（ざる）を水に漬けておくと満々と水を溜めることが出来る。更にこの水は知識であり、知恵であり、教養であり、品格であると、しかし、この水は滔々と流れる清らか淀まない水でないとダメだと。

但に、決してバケツになるなと・・・ここが一番の教訓と自戒しています。

この意味がストンと胸に落ちたのは、やはり社会に出て、「かんなんなんじ 艱難たま汝を玉にす！」が理解できるように、この水が何であるかが納得できるようになりました。

即ち、まずは読書を通して毎日が勉強であると気付かされたのであります。

齢（よわい）85才になって「いのちの電話」が正に私にとって、父から言われた水だと気付かされたのであります。お父さん、ありがとうございました。

*艱難汝を玉にす！→困難を乗り越えることが人を成長させる



自殺予防公開講座「命の参観日～多文化共生の観点からの自殺防止」が開催されます。

福岡いのちの電話と朝日新聞厚生文化事業団との共催による2025年度自殺予防公開講座（厚生労働省自殺対策事業）が、2026年1月18日（日）14時からレソラホール（レソラ天神5階、福岡市中央区天神2-5-55）で開催されます。

講師に玉城ちはる氏（シンガーソングライター、広島安田女子大学非常勤講師）をお迎えします。先着200名となっています。ご希望の方は、事務局（☎092-713-4343）までお申込みください。

市民有志が支援のマルシェイベント 11月に福津市で開催

市民有志が企画したイベント「アートと癒やしのマルシェ いのちの電話に心を寄せて」が11月1～3日、福津市上西郷の古民家芸術空間「やまんば庵」で開かれました。

イベントの発案者は、福津市で以前暮らし、今は鹿児島県奄美市で絵を描き続けている女性 Tsuki (ツキ) さん。かつて心が弱っていた時に「いのちの電話」に電話をかけたことがあるそうです。

いのちの電話の関係者から、相談員不足や寄附金の伸び悩みなど活動の課題や現状を知らされ、福岡県内に住む知人に呼びかけて実行委員会（古賀洋市代表）をつくり、支援イベントが実現しました。「福岡いのちの電話」も後援団体となり、理事が会場に常駐しました。

会場には、趣旨に賛同した個人・団体による絵画や手工芸品などの展示即売をはじめ、整体やアロマセラピー、奄美物産の販売コーナーなども設けられ、福岡いのちの電話の事業ボランティアが手作りしたクリスマスグッズも並びました。

出展者や来場者から寄付が寄せられたほか、相談員に応募したいと名乗りをあげてくださった方もいて、実行委員の古賀さんは「いのちの電話のことを、少しでも知ってもらうきっかけになったのなら幸いです」と話していました。



支援自販機設置のお願い

福岡いのちの電話では、自販機の販売収益の全額（一部）をご寄附いただく支援自販機の設置を企業、団体様にお願いしております。設置の企業、団体様だけでなく、飲料等を購入される皆様方からも、間接的に福岡いのちの電話を支援していただくシステムとなっております。

自販機の設置や更新の際に、是非、支援自販機への転換をご検討ください。

支援自販機により、年間約90万円の支援募金をいただいております。自動販売機設置による支援をお考えの方は、事務局までお問い合わせください。

ご援助ありがとうございます

寄附感謝報告 2025年9月1日～2025年11月30日（敬称略・受付順）

上記の期間に次の方々からご支援を賜りました。感謝をもってご報告させていただきます。

*このご寄附には所得税、県・市民税に関して寄附金控除が適用されます。
また、福岡市個人市民税の寄附税額控除が受けられます。



千人会

楯林英晴	20,000
藤川尚宏((医)遊行会 藤川メディケアクリニック)	10,000
宮岡達也(宮岡皮膚科医院)	10,000
権藤説子	20,000
太田輝幸	10,000
松崎 隆	10,000
金藤哲明(金藤歯科医院)	10,000
稲村鈴代(稲村法律事務所)	20,000
村山正治	10,000
高宮紘士	10,000
和智凧子(和智法律事務所)	10,000
佐藤 勉	10,000
(有)吉塚酒店	10,000
小深田信昭	10,000
仲吉則雄(なかよし眼科クリニック)	10,000
五十嵐 実(㈱福岡住宅センター)	10,000
萬年浩雄	10,000
住吉康平(住吉クリニック)	10,000
乙藤秀臣	10,000
諸岡智子(諸岡小児科)	10,000
山口雅子	10,000
吉田黎子	10,000
西岡雄二((医)社団照和会 西岡病院)	10,000

高宮義臣((医)高宮外科内科医院)	10,000
荒木靖邦(あらきファミリー歯科)	10,000
山手誠之助	10,000
㈱丸屋	10,000
㈱近代プラント	10,000
佐藤好史	10,000
(医)社団 江頭会さくら病院	10,000
山口祐司((医)GSGL会 福岡浦添クリニック)	10,000
(医)秀治会 高口歯科医院	10,000
川原 健	10,000
繁田公志(しげた消化器科・外科クリニック)	10,000
松本一郎((医)松本小児科医院)	10,000
高原清彦・住吉康史(桜坂中央外科医院)	10,000
太田 良	10,000
見元伊津子((医)同仁会 乙金病院)	10,000
長門博之	10,000
吉野 正	10,000
緑川啓一((医)緑川内科・循環器科医院)	10,000
雷音寺(洞 庸雄)	10,000
小林恒喜	10,000
泉林寺(嚮水俊道)	10,000
佐藤光昭	10,000
田中和子	10,000
山名敏子(山名としこ眼科)	10,000

本山智敬	10,000
(医)つくし会病院	10,000

賛助会

正田美加	3,000
西宗寺	10,000
原田元子	2,000
中村 正	5,000
大久保尚子	10,000

一般寄付

旗島淑子	10,000
田中幸彦	3,000
龍 忠史	30,000
中野智之	10,000
小島洋子(ソロプチミスト福岡-東)	50,000
ソロプチミスト福岡-東	130,000
田中幸彦	1,000
渡辺和司(福岡由加里チャリティコンサート)	74,000
関根敏子	5,000
石村重哉	3,000
大野道雄(徳栄寺)	10,000
才田洋介	10,000
八田喜弘((医)八田内科医院)	10,000



匿名	3,000	竹下道子	9,100	西部ガス都市開発(株) (ニシコー千代ビル内)	9,179
花島敏雅	10,000	吉村松子	20,000	(有)ダイキ通信工業(自社内)	15,966
専立寺(藤 泰澄)	10,000	北島雅章	5,000	(株)西日本新聞社(本社)	38,537
待井弘道	10,000	福岡カルメル会修道院	3,000	(株)西日本新聞プロダクツ(製作センター)	14,188
植田治夫	5,000	匿名	10,000	福岡県弁護士会(福岡県弁護士会館内)	6,139
匿名	10,000	福岡北ライオンズクラブ	300,000	JFEパイプライン(株)(自社内)	2,354
匿名	3,000	内田善雄	10,000	九州電力(株)(電気ビル新館8階)	4,262
西川ともゑ(株)博多石焼 大阪屋)	10,000	支援自販機			
古澤良章	10,000			(財)恵愛団(九州大学病院内)	88,271
アートと癒しのマルシェ「いのちの電話」 に心を寄せて 実行委員会	19,750			西部ガスホールディングス(株) (パピヨン24内)	20,877
松尾公孝	30,000			〃 (油山研修所内)	2,117
九州電力(株)福岡支店	42,000			西部ガス都市開発(株)(サンテ飯倉内)	1,345

生命保険協会から寄附金贈呈

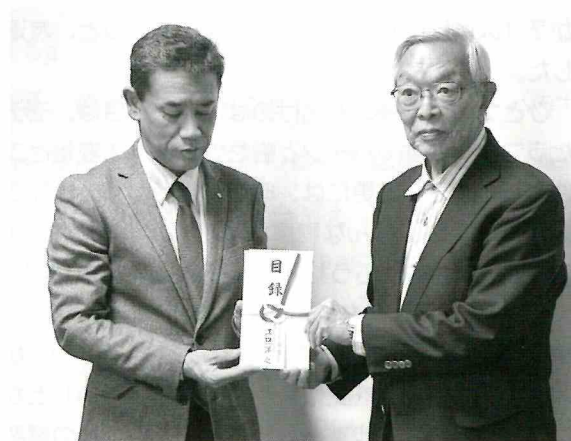
12月8日(月)、福岡いのちの電話事務局にて、生命保険協会様からご寄附を頂戴いたしました。2020年から続いてのご厚志に感謝申し上げます。



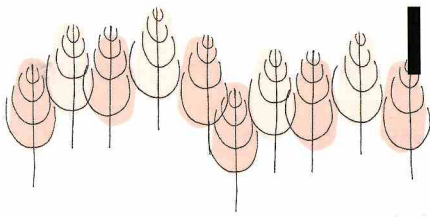
山中淳二様(生命保険協会、ブルデンシャル生命保険株式会社福岡支店支社長)と石井事務局員(右)

九州電力(株)福岡支店から寄附金贈呈

九州電力(株)福岡支店(江口洋之執行役員・福岡支店長)から、10月12日(日)に開催した同社グループオフィスが集まる地域を盛り上げるイベント「晴好(はるよし) みらい1丁目カドフェス」の売り上げの一部を11月10日(月)に昨年度に続きご寄附いただきました。

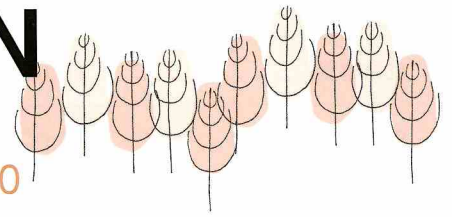


九州電力(株)江口洋介執行役員・福岡支店長様(左)、濱生副理事長(右)



INFORMATION

インフォメーション



日誌 2025.9.1~2025.11.30

9月

- 1 第49期生閉講式
- 2 福岡市自殺フォーラム
(講師：久保千春理事長)
- 3 相談活動運営委員会
- 5 事業ボランティア「企画づくり会」
- 9 事業ボランティア「手づくり会」
- 10 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」
- 11 事業ボランティア「イオン黄色いレシートキャンペーン」参加
- 12 福岡市監査
- 13 宇美町自殺対策後援会
(講師：松尾公孝教育委員長)
- 17 事務局会議
第6回教育委員会
- 24 受信資料検討班会
- 25 第6回理事会
- 27 自主研修「ケースと私」
- 30 事業ボランティア「手づくり会」

10月

- 1 第51期養成講座開講式
(講師：濱生正直副理事長)
相談活動運営委員会
- 4 チャリティコンサート
- 7 連盟(事務局長会議)
- 10 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」
- 11 事業ボランティア「イオン黄色いレシートキャンペーン」参加
- 14 事業ボランティア「手づくり会」
- 15 第51期養成講座
(講師：太田義隆氏)
- 16 福岡城東ライオンズクラブチャリティゴルフ大会
- 17 合同役員会
自主研修「もみじの会」
- 18 ハートフルフェスタ福岡2025
(講師：吉良安之氏)
- 18~19 第3回全体研修C分科会
(講師：松尾公孝教育委員長)
- 21 第7回理事会
- 22 事務局会議

第7回教育委員会

- 28 事業ボランティア「手づくり会」
- 29 第51期養成講座
(講師：山崎一馬氏)

11月

- 4 受信資料検討班会
- 5 相談活動運営委員会
- 6 広報活動班会
- 10 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」
- 11 事業ボランティア「イオン黄色いレシートキャンペーン」参加
事業ボランティア「手づくり会」
- 15~16 第51期養成講座宿泊研修人間関係訓練Ⅰ(講師：花田利郎氏)
- 18 第8回理事会
- 25 事業ボランティア「手づくり会」
- 26 事務局会議
第8回教育委員会
第51期養成講座
(講師：吉良安之氏)
- 29 事業ボランティア例会

【編】集【後】記【

NHKの朝の連続ドラマ「ばけばけ」、ご覧になっていますか？「ばけばけ」ってどんな意味だろうねと、友達と話しました。

ひとつは、怪談のお化けのばけ。二つ目は、モデルとなったラフカディオ・ハーンと妻セツ、各々の変化と二人の関係性の変化。そして更には、明治時代という大きな変革の後の時代、日本のいろんな物事が変化し、人の心も化けていく。そんな意味合いだろうね、という事に落ち着きました。

さて、「福岡いのちの電話」も開局40周年を過ぎました。相談員の中でも、「携帯電話かけ放題」とか「ITが、チャットでやさしく悩みを受け止めてくれるらしい」とか、急速な変化が話題になります。これからの「いのちの電話」は、どんな風に化けていくのか？ばけてはいけないのか？

(K.Y)

電話受付件数

2025年9月~2025年11月

受付件数	3,098件
延べ相談員数	819人
延べ受信時間	96,985分

発行所

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2-7-7
社会福祉法人 福岡いのちの電話

TEL (092)713-4343・FAX (092)721-4343

ホームページアドレス

<http://www.f-inochi.org/>

発行人 久保 千春

編集 広報活動班



この「会報」は共同募金の配分金で作成しています。